

郡山市教育振興基本計画審議会  
第4回専門分科会（第2分科会） 概要

日時：令和元年11月13日（水）

午後3時～午後3時45分

場所：教育委員会室（郡山市役所本庁舎5階）

○出席委員（五十音順）

稲垣 優子 委員、菅家 元志 委員、今野 静 委員、  
瀧田 勉 委員、平栗 辰也 委員

○欠席委員

三部 香奈 委員、三瓶 千香子 委員

○資料

- (1) 郡山市教育振興基本計画（第3期）素案への意見等一覧表（追加意見）
- (2) 郡山市教育振興基本計画（第3期）素案（2019年11月8日現在）

1 「素案への意見」への事務局説明

※説明内容は一覧表を参照し、カテゴリーの意見（黄色部分）の中で追加部分（赤字）について口頭説明。一覧表の補足説明があったものは以下に記載。

- (1) 第2章基本目標4施策4：1件
- (2) 第2章基本目標5施策1：2件

- ・意見中、【国の目標（10）（11）】とは、国の指標（10）人生100年時代を見据えた生涯学習の推進、国の指標（11）人々の暮らしの向上と社会の持続的発展のための学びの推進という項目です。さらに、【3つの測定指標】とは、以下の内容です。

これまでの学習を通じて身に付けた知識・技能や経験を

- ①仕事や就職の上で生かしている者の割合の向上
- ②家庭・日常の生活に生かしている者の割合の向上
- ③地域や社会での活動に生かしている者の割合の向上

- (3) 第2章基本目標5施策4：3件

- ・意見中、【国の目標（12）】とは、国の指標（12）職業に必要な知識やスキルを生涯を通じて身に付けるための社会人の学び直しの推進という項目であり、リカレント教育についての内容です。狭義では、再就職・職業訓練のための、高等教育機関での学び直しという意味ですが、広義では職業訓練に留まらず、キャリアアップ、ステップアップのための学び直しという意味があり、生涯学習分野に求められるものとしては後者であると捕らえています。

意見の意図としまして、国の目標を郡山市の目標としても活用できないか、社会人受講者の実績があるかという内容でしたが、市立の高等教育機関が無く、大きくは把握していますが、必ずしも全体の実績ではないことから、本市の目標とできるような受講者数の把握はしておりません。

(4) 第2章基本目標5施策5：1件

## 2 審 議

P96 5-1 一人ひとりの学びの推進について

・山下委員からの意見の【成果指標】についてですが、測定するための新しい【指標】を設けてほしい、今現在は無くても、今後のために新しく設定し、集計していったほうがいいのではないかという意図に感じました。【成果】を求めているのではなく、今後の方向性を示す新しい【指標】を記載するべきではないでしょうか。事務局説明では、今現在、計画に掲載できる【成果】としての数値は無いというお話でしたが、今後の方針としての表記はできないでしょうか。(菅家委員)

→計画への記載はしておりませんが、今後はアンケート等を実施しながら指標になる数値の実績収集をして参ります。

・アンケートは、【指標】が定まった後の、数値を集める作業ですので、その前段となる、新しい【指標】について導入はできないでしょうか。(菅家委員)

→今回の山下委員からのご意見は、国の指標を使い、郡山市にも生かしていけないかというものでしたが、現段階では国の指標が抽象的であり、市町村レベルにどう落とされ、どんな数値を集めるべきかが示されておりません。国からの具体的な指標や目標が示されるまでは、郡山市においても、指標導入に向けて検討していくという段階ですので、計画への記載が難しいことをご了承ください。

・成果指標は計画の中でもとても重要な部分だと思います。郡山市独自の【指標】を設定しても良いのではないのでしょうか。(菅家委員)

・私は医療職であるため、治療前と治療後での変化や数値を測っています。そのような単純なものでも良いですので、新しい分野であれば、なおさらその導入という意味で、郡山市独自の数値を測る指標があると良いです。(平栗委員)

・一人ひとりの学びをどう生かしていくかは、量的なものではなく、質的なものですので、「はかる」ということが非常に難しいと思いますが、なんらかの方法で教育がどう生かされてきたか、目に見える形にしていきたいです。(今野委員)

・今回の数字を出す、出さない、といった議論には、非常に葛藤があります。この生涯学習においては、数が多ければ成果があったとは言えない分野だと思いますが、数字が無いと成果があったかどうか、分からないのも事実です。数字があることで事業が進んでいく面もありますが、本来の意味が見えなくなってしまうこともあります。計画への表現を検討していただきたいと思います。(稲垣委員)

- ・皆さんからの意見ですので、ぜひ、ご検討いただきたいと思います。(瀧田委員)
- 皆様や山下委員からのご意見を取り入れ、国の測定指標を参考にしながら、郡山市としてどのような指標が適切なのか、また、どのような記載にすべきか再度検討します。

#### P110 5-4 生涯学習の新たな展開について

- ・防災、減災の教育は学校教育だけではなく、生涯学習分野においても世代を問わず、必要なことと思います。このタイミングで災害が発生し、計画を作成することを好機に捉え、計画の中にぜひ反映させてほしい部分です。(平栗委員)
- 昨日の第1分科会でも意見が出されました。防災・減災の記載について現在、内容を追加・修正を行っているところです。

#### その他

- ・全体的に写真や画像（特にSDGsマーク）が粗いですが、これは直りますか。(菅家委員)
- 最終的には印刷業者へ発注しますので、印刷業者と調整して鮮明な画質になるようにします。

#### P33 1-2-1 道徳教育の充実について

- ・命の大切さについて盛り込んでいただきたいです。(今野委員)
- 担当所属に伝え、検討いたします。

#### P41 1-4-1 個に応じた指導の充実について

- ・医療的ケア児に対する内容を入れていただきたいです。(今野委員)
- ・特別支援学級は力を入れていただきたい分野と思っています。(稲垣委員)
- 担当所属に伝え、検討いたします。

#### ボランティアについて

- ・生涯学習分野の中でボランティアに関する内容を分かりやすく記載していただきたいです。(平栗委員)

#### P19 2-5 生涯を通して学び、地域づくりに生かす環境の整備について

- ・生きがい創生という言葉は聴き慣れないのですが、もう少しやわらかい表現にできないでしょうか。(菅家委員)
- 確かに「生きがい創出」という表現が多いかと思いますが、生きがいを生んでいくという意味に、より広がりを持たせたかったため、このような表現にしています。

- ・人生 100 年時代と生きがい創生の支援が必要とされていますという表記についてですが、人生を豊かにするための生涯学習という考えは大事なのですが、一方で、生き残るための生涯学習という考え方も必要だと思っています。生涯教育を通じて、地域が生き残っていくことが可能になる（例えば過疎地域での ICT 普及による孤立化防止など）時代が来ますので、ぜひ生き残るための生涯学習という内容も盛り込んでいただけないでしょうか。（管家委員）
- 検討します。

### 3 その他

- (1) 事務局から今後の日程（第 4 回目の分科会、その後の全体会）について

【以下、記録として】

○出席職員

教育総務部次長兼総務課長 馬場 章光  
生涯学習課長 大越 総  
中央公民館長兼勤労青少年ホーム館長 黒田 知恵子  
中央図書館長 熊坂 則男  
美術館長 佐治 ゆかり  
総合教育支援センター所長 高山 良勝  
文化スポーツ部文化振興課長 渡邊 信幸  
文化スポーツ部スポーツ振興課長補佐 草野 節生  
こども部次長兼こども未来課長 橋本 仁信  
こども部こども支援課長 伊藤 克也

総務課課長補佐 大澤 修一  
総務課総務管理係係長 佐藤 斉  
総務課総務管理係主任 濱津 慎一  
総務課総務管理係主査 大杉 美穂子